

上しております。これは、食料品等幅広く物価が高騰している状況に鑑み、市民生活を下支えするため、基準日時点で本市に住民登録のある市民に対し、一律5,000円を支給するもので、対象者は約14万4,000人でございます。なお、基準日は本日、令和8年1月19日でございます。支給方法は、プッシュ方式と申請方式の2つを併用して行う予定としておりまして、世帯主の口座へ世帯員全員分を支給することとしており、世帯数は約7万世帯でございます。プッシュ方式につきましては、本市で口座情報を把握している世帯主に対し、口座情報等を記載した通知を送付し、変更がない場合は一定期間経過後に給付金を振り込むこととしております。口座変更、受給辞退など、記載の口座への振り込みを希望されない場合については、オンライン申請またはコールセンターへの連絡により手続きを受け付けいたします。申請方式につきましては、本市で口座情報を把握していない世帯主に対して、封書による案内、申請書、返信用封筒等一式を郵送し、オンライン申請、または郵送にて申請を受け付け、審査後に指定口座へ振り込むこととしております。

これらの方法により支給決定した世帯については、3月下旬より順次支給を開始する予定としており、申請方式の申請の受付期間については、5月末を予定しております。この給付金の広報については、給付金の趣旨から全ての対象の方に申請をしていただけるように、市報、ホームページ、その他さまざまな手段を活用いたしまして、周知に努めることとしております。

続きまして、米子市補正予算書の22ページをお開きください。繰越明許費に関する調書、補正第2回でございます。一番上の段、3款民生費、1項社会福祉費でございますが、先ほどご説明いたしました物価高騰対策臨時給付金事業について、2億6,072万6,000円を計上しております。これは、本事業について、年度内の事業完了が見込めないため、繰り越しをお願いするものでございます。説明は以上でございます。

○松田分科会長 当局の説明は終わりました。委員の皆様からのご意見を求めます。

吉岡委員。

○吉岡委員 物価高騰対策臨時給付金事業について、何点か質問させてください。この市民全員に1人5,000円ということですが、この5,000円になった根拠というか、理由というのは、どのようなものでしょうか。

○松田分科会長 渡辺福祉政策課長。

○渡部福祉政策課長 給付額5,000円についての根拠のお尋ねでございます。このたびは、財源といたしまして、国の重点支援地方交付金を活用いたしておりまして、その中で食料品の物価高騰に対する特別加算ということで、国民1人当たり3,000円という額が規模感として示されております。それを元に、このたびは米子市独自の上乗せ分を2,000円加算いたしまして、5,000円としたところでございます。以上です。

○松田分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 分かりました。あと、経費のことについて伺いたいと思います。意外と現金給付もかかるのだなという印象を持ちましたが、事前の聞き取りで、正規職員2人と会計年度任用職員3人が専任で当たられると伺っています。その中で、この経費の中で会計年度任用職員3人分と思われるが、459万1,000円が報酬として伺っているのですが、これは何カ月分を見込んでおられますか。

○松田分科会長 渡辺福祉政策課長。

○**渡部福祉政策課長** 会計年度任用職員の人件費については、4カ月分を見込んでおります。

○**松田分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** 職員の業務と、委託業務というのは、どのように分けておられますか。

○**松田分科会長** 渡辺福祉政策課長。

○**渡部福祉政策課長** 今回、委託につきましては、最初の住民基本台帳のデータを委託業者にお渡しをして、その後のデータ構築、それから申請書の送付、コールセンターの業務、それから審査、それから支払いのデータの作成まで、包括的に事業者へ委託することを想定いたしております。それ以外の部分、市で行う部分というお尋ねですが、まずは、事業が始まるまでは、事業のスキーム、単市の事業になりますので、枠組みの構築であったり、今回重要になるのが事業者との打ち合わせ、擦り合わせだと思っていますので、まずはそういったところに重点を置いて行います。その後は、申請書を送付する時期、概ね3月中旬頃を予定しておりますけれども、そこへ近づいてきますと市民からのお問い合わせであったり、申請書を送った後には市民からの来庁、申請書に関するお問い合わせが非常に増えると思っておりますので、そういったことへの対応を行っていくということになります。事務につきましても、概ね審査は事業者へ委託しますが、そこから少し例外的なものであったり、そういったものへの対応については、市で行う予定としております。それから広報全般は市で行う予定となっております。以上です。

○**松田分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** よく分かりました。続けて質問させていただきます。その委託に関しましては、今回随意契約ということで伺っていますが、その随意契約の要件は、今回どのように満たしていると考えておられますでしょうか。

○**松田分科会長** 渡辺福祉政策課長。

○**渡部福祉政策課長** このたびは、国の重点支援交付金を活用した物価高騰対策の事業でございます。その趣旨からいたしますと、やはりこの給付金の支給を早く、正確に行っていくということが最優先だと考えておりますので、これは、緊急性が高い事業である、スピード感を持ってやらないといけない事業であるというところで、随意契約をする予定といたしております。以上です。

○**松田分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** 緊急性ということは理解しますが、例えばプロポーザルを実施した場合と、随意契約の場合の給付までの期間の差というのはどれくらいになりますか。

○**松田分科会長** 渡辺福祉政策課長。

○**渡部福祉政策課長** プロポーザルを仮に実施いたしますと、その要項の作成、要件を決めたりということから、しっかり募集期間を取って、それから審査、決定という流れになりますので、短くても1カ月、通常でいくと概ね2カ月程度、支給が後ろ倒しになるのではないかと考えております。以上です。

○**松田分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** それでですね、今回も給付に関するシステムの構築ということがありました。そのシステムのプログラムの著作権というのはどちらに所属することになりますでしょうか。

○松田分科会長 渡辺福祉政策課長。

○渡部福祉政策課長 今回給付金のシステム構築、委託業者に作成をいただきますが、著作権については委託業者にあります。以上です。

○松田分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 それを米子市の所有財産、財産にするということになると、やはり委託料が上がったりということがありますか。

○堀口DX推進監 今回は外部委託。先ほどのシステムの構築もコールセンターの機能も1つの業者でやろうとしておりますので、そもそもシステムだけ米子市で著作権を持つということは、現実的ではないというところがありますが、今後のこともありますので、今回作ったものは継続的に米子市が使えるように、広くは、他にも横展開できるような仕組みにするようにと、今は調整はしております。

○松田分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 わかりました。以上です。

○松田分科会長 他に意見等はございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○松田分科会長 ないようですので、予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

午前10時35分 休憩

午前10時36分 再開

○松田分科会長 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。ご意見がございましたら発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○松田分科会長 それでは、特になかった旨報告させていただきます。

以上で予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

午前10時36分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 松 田 真 哉